

## 十日町地域広域事務組合消防のあゆみ

昭和 47 年

4 月 20 日 十日町地域広域事務組合設立許可(県知事)  
(十日町市、川西町、津南町、中里村の4市町村で、と畜場、福祉センター事務共同処理)

4 月 24 日 十日町地域広域市町村圏協議会の事業として、昭和 48 年4月1日を目標に、一部事務組合方式で広域消防を実施することになり、広域市町村圏振興整備計画決定

10 月 11 日 広域消防に関する消防本部・署設置義務政令指定申請書を県を通じて自治省に提出

昭和 48 年

4 月 1 日 十日町地域広域事務組合規約変更県知事許可により既設十日町市消防本部・署を廃止し、組合消防本部・署ならびに消防団4団を設置

1本部1署職員 49 人、4団 団員 3,237 人  
機械施設等は十日町市消防本部・署ならびに各市町村消防団の施設を引き継ぎ広域消防業務を開始

4 月 5 日 自治省告示第 74 号により、川西町、津南町、中里村に消防本部・署、設置義務に関する政令指定

9 月 1 日 消防職員 16 人採用増員(総員 65 人)

10 月 1 日 川西分遣所ならびに津南分遣所業務開始、職員各9人  
川西分遣所にニッサンFH60 型消防ポンプ自動車購入配置

10 月 23 日 県単補助事業によりトヨタコンピューター RH18V救急車購入消防署に配置

10 月 25 日 津南分遣所にニッサンFH60 型消防ポンプ自動車購入配置

11 月 1 日 日本自動車工業会からトヨタコンピューター RH18V救急車の寄贈を受け川西分遣所に配置

11 月 9 日 川西分遣所庁舎竣工

11 月 20 日 津南分遣所庁舎竣工

昭和 49 年

5 月 1 日 職員4人採用、分遣所各 11 人(総員 69 人)

6 月 29 日 自治省告示第 131 号により、川西町、津南町、中里村救急業務に関する政令指定

10 月 4 日 十日町地域消防本部・署庁舎竣工

10 月 14 日 消防本部にC型緊急指令装置及び構内電話交換設備設置工事完了

10 月 26 日 マツダルーチェバンデラックス指令車の寄贈を受け川西分遣所に配置

昭和 50 年

5 月 1 日 職員4人採用、分遣所各 13 人(1人退職、総員 72 人)

6 月 1 日 津南分遣所に日赤トヨタコンピューター RH18V救急車配置

昭和 51 年

1 月 31 日 県単補助事業により泡放射砲 MFN-2000VA 購入本署に配置

3 月 20 日 中里村消防団車庫兼詰所竣工

6 月 16 日 十日町市消防後援会より軽自動車の寄贈を受け連絡車として本署に配置

昭和 52 年

2 月 28 日 ニッサンパトロール FH60 型ドア付き消防車購入本署に配置

4 月 1 日 職員1人採用(3人退職、総員 70 人)

6 月 14 日 本署日赤救急車更新(ニッサンシビリアン)

昭和 53 年

4 月 1 日 職員6人採用(退職3人、総員 73 人)

昭和 54 年

3 月 28 日 救助工作車(ニッサンディーゼル)購入  
本署に配置

4 月 1 日 職員3人採用津南分遣所 15 人(総員 76 人)

7 月 30 日 津南分遣所指令車更新(トヨタペットクラウン)

昭和 55 年

3 月 28 日 消防本部に救急医療情報システム端末設備設置(県委託)

4 月 1 日 消防本部に通信救急課及び通信係を新設

5 月 19 日 中里村に消防連絡車配置  
(ニッサンブルーバード E-910)

5 月 31 日 1人退職

6 月 1 日 職員1人採用(総員 76 人)

6 月 9 日 日赤よりニッサンシビリアン3B型救急車川西分遣所に配置

7 月 15 日 本署に指令車配置(トヨタペットクラウン)

8 月 1 日 新潟県消防学校へ教官派遣1名(4ヶ月)

10月5日	日本損害保険協会よりトヨタランドクルーザーFJ-56型の寄贈を受け本署に配置	昭和60年	2月8日	十日町市消防団、日本消防協会より竿頭綬を受章
昭和56年			4月1日	職員4人採用(総員81人)
4月1日	職員3人採用(1人退職、総員78人)			地域消防史編纂プロジェクトチーム編成
8月1日	川西分遣所2名増員(15人)		9月1日	中里村消防団、災害現場功労により内閣総理大臣より表彰される
9月3日	本署に連絡車配置(スズキジムニー)		9月2日	川西分遣所消防ポンプ自動車更新(イスズエルファA-2級)
昭和57年			昭和61年	
3月3日	十日町地域消防本部・津南町消防団が消防庁長官より竿頭綬を受章		4月1日	職員3人採用(3人退職、総員81人)
4月1日	職員1人採用(1人退職、総員78人)		8月7日	川西分遣所日赤救急車更新(イスズファーゴ4WD)
6月11日	本署に気象観測収録装置設置		11月9日	職員1人退職(総員80人)
7月23日	本署日赤救急車更新(ニッサンシビリアン)		12月10日	職員1人採用(総員81人)
11月17日	津南町消防団が水防功労により北陸地区治水会から表彰される		昭和62年	
12月14日	本署連絡車更新(スバルレックス)		1月1日	本署に救助分隊を編成
昭和58年			4月1日	消防本部の通信救急課を廃止し、通信係・救急係を警防課に統合
4月1日	職員1人採用(1人退職、総員78人)		8月3日	本署日赤救急車更新(トヨタ4WD)
5月14日	本署指揮連絡車更新(スバルレオーネ)		10月14日	本署泡放射砲積載車更新(三菱キャンター4WD)
6月1日	十日町市消防団が災害の発生防止、復旧事業促進の功により、全国防災協会から表彰される		昭和63年	
6月5日	十日町市消防団が水防功労により、信濃川・魚野川水防連絡会から表彰される		8月7日	第39回新潟県消防大会を十日町市で開催(ポンプ車操法の部で十日町市消防団優勝)
8月2日	津南分遣所日赤救急車更新(ニッサンキャラバン)		8月26日	日本消防協会より指令広報車(三菱ランサーバンDX)の寄贈を受け津南分遣所に配置
9月9日	川西分遣所指揮連絡車更新(ニッサンダットサン)		8月26日	日本消防協会より小型動力ポンプ付積載車(トヨタハイエース)の寄贈を受け川西町消防団に配置
12月9日	本署救助訓練塔建設工事竣工		10月12日	第11回全国消防操法大会(於横浜市)十日町市消防団第16分団がポンプ車操法に出場
昭和59年			平成元年	
1月14日	本署化学車を更新、本署の化学車津南分遣所へ配置換え		3月20日	本署屈折はしご付消防ポンプ自動車更新(30m級はしご付消防自動車、東急メッツDL30h型)
2月10日	中里村消防団、日本消防協会より表彰旗を受章		4月1日	職員4人採用(4人退職、総員81人)
3月25日	広域事務組合発足10周年記念式典挙行政			消防本部予防課に危険物係を設置
4月1日	職員1人採用(1人退職、総員78人)			新潟県消防学校へ教官派遣1名(6ヶ月)
4月18日	職員1人退職(総員77人)		7月28日	本署指令1号車更新(ニッサングロリア)
5月31日	川西分遣所指揮連絡車更新(ニッサンダットサン)		8月20日	第40回新潟県消防大会(於朝日村)小型ポンプ操法の部で中里村消防団優勝
11月6日	津南分遣所消防ポンプ自動車更新(ニッサンサファリアA-2級)			
12月17日	中里村消防団、消防庁長官より災害現場功労表彰を受章			

12月10日	本署救助訓練塔補強増設		
12月22日	本署消防ポンプ自動車2号車更新 (三菱キャンター4WD A-2級)		として組合章、組合旗、マスコットマークを制定
平成 2年		10月 1日	十日町地域広域事務組合発足 20 周年記念事業として記念誌「鎮」発行
2月14日	川西町消防団、日本消防協会より表彰旗を受章	平成 6年	
3月20日	緊急指令装置Ⅱ型更新(NEC)	4月 1日	職員1人採用(2人退職、総員 88 人)
4月 1日	職員1人採用(1人退職、総員 81 人)	5月 31日	職員1人退職(総員 87 人)
6月 30日	職員1人退職(総員 80 人)	7月 28日	本署救急1号車更新 (トヨタアンビュランス4WD)
9月 7日	津南分遣所救急車更新 (ニッサンホームミー4WD)	8月 1日	職員2人採用(総員 89 人)
12月 20日	緊急情報システム、無線統制台設置	8月 26日	本署連絡2号車更新(三菱ミニキャブ4WD)
12月 27日	本署消防ポンプ自動車3号車更新 (三菱キャンター4WD A-2級)	9月 30日	川西分遣所庁舎増改築工事竣工
平成 3年		10月 27日	本署訓練場造成工事竣工
2月 28日	職員1人退職(総員 79 人)	平成 7年	
3月 6日	中里村消防団消防庁長官より竿頭綬を受章	3月 3日	川西町消防団消防庁長官より竿頭綬を受章
4月 1日	職員5人採用(1人退職、総員 83 人)	4月 1日	職員1人採用(1人退職、総員 89 人)
8月 1日	職員1人採用(総員 84 人)	11月 1日	職員1人採用(総員 90 人)
平成 4年		12月 25日	本署連絡1号車更新(ニッサンホームミー)
3月 25日	本署救助工作車更新 (救助工作車Ⅱ型 三菱ふそう 8t級)	平成 8年	
4月 1日	職員3人採用(2人退職、総員 85 人)	2月 14日	本署化学車更新 (化学車Ⅱ型 イスズフォワード 4WD)
6月 15日	中里詰所連絡車更新(スバルレガシー4WD)	4月 1日	職員3人採用(3人退職、総員 90 人)
12月 29日	十日町市消防団本部分団に資器材搬送車配置(ダイハツハイゼット4WD)	8月 13日	職員1人退職(総員 89 人)
平成 5年		12月 1日	職員1人採用(総員 90 人)
3月 25日	津南分遣所消防ポンプ自動車更新 (三菱キャンター4WD A-2級)	平成 9年	
4月 1日	職員4人採用(総員 89 人) 消防本部に文書広報係及び訓練救助係を新設 完全週休二日制及び週 40 時間勤務実施 消防署及び分遣所の勤務を三交替制とし試行開始	3月 24日	津南分遣所を津南町卯ノ木地内に新築移転、竣工
6月 4日	本署指令2号車更新(スズキエスクード)	4月 1日	国のモデル広域指定を受け、本部・署の組織を一部変更し、東頸城郡松代・松之山両町の消防事務を十日町地域広域事務組合で共同処理することとなり、1市4町1村で構成する新たな広域消防業務を開始。 上越地域消防事務組合より東頸消防署松代分遣所・松之山分遣所の施設、車両等の譲渡を受け、名称を「十日町地域消防署松代分遣所」・「同 松之山分遣所」として編入。 津南分遣所は中里詰所との機能統合を図り、「十日町地域消防署南分署」とし、川西分遣所は「西分署」と改称した。 新たに職員 23 人を採用(うち派遣職員5名)
8月 5日	川西分遣所日赤救急車更新 (トヨタハイエース4WD)		松代・松之山両町消防団の機械施設等を引き継ぎ、消防団2団を編入。
8月 25日	川西分遣所指揮連絡車更新 (トヨタランドクルーザー4WD)		
9月 1日	十日町地域広域事務組合 20 周年記念事業		

1本部 1署 2分署 2分遣所 職員 113 人 6消防団 団員 3,156 人 上越地域消防事務組合より譲渡された車両 〈松代分遣所〉 消防車 (イスズエルフ 250 スーパー) 救急車 (トヨタハイエース) 指揮連絡車 (スズキジムニー) 〈松之山分遣所〉 消防車 (ニッサンサファリ) 救急車 (トヨタハイエース) 指揮連絡車 (スズキエブリー)	平成 13 年 4 月 1 日 職員4人採用(3人退職、総員 114 人) 新潟県消防防災航空隊へ1人出向 7 月 18 日 松代分遣所消防車更新 (日野CD-1型 4WD) 7 月 26 日 本署救急2号車更新 (トヨタグランビア2-B型 4WD) 8 月 22 日 南分署指令1号車更新 (ニッサンウイングロード4WD)
9 月 8 日 日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車 の寄贈を受け南分署に配置 (ニッサンディーゼル I-B 型 A-1級)	平成 14 年 4 月 1 日 職員4人採用(4人退職、総員 114 人) 8 月 1 日 職員1人採用(1人退職、総員 114 人)
平成 10 年 1 月 25 日 西分署消防車更新 (ニッサンディーゼル A-2級)	平成 15 年 2 月 7 日 十日町市消防団、日本消防協会より特別表彰「まとい」受賞 4 月 1 日 職員1人採用(1人退職、総員 114 人) 新潟県消防防災航空隊員1人派遣解除
3 月 31 日 日本自動車工業会より高規格救急車の寄贈 を受け本署に配置(HIMEDIC 型 VCH 38S)	平成 16 年 2 月 1 日 十日町地域広域事務組合発足 20 周年記念 事業として記念誌「鎮」発行 2 月 26 日 十日町地域メディカルコントロール協議会設立
4 月 1 日 職員7人採用 (2人退職、5人帰属、総員 113 人)	4 月 1 日 職員2人採用(3人退職、総員 113 人) 新潟県消防学校へ教官派遣1名(2年)
11 月 26 日 南分署救急車更新 (トヨタアンビュランス2-B型 4WD)	10 月 23 日 新潟県中越大震災 午後5時 56 分中越地方を最大震度7の激震 が襲う。(十日町地域管内では最大震度6強) 断続的に余震が続き、同年 12 月 28 日までの 間に有感地震は 877 回を数えた。
平成 11 年 4 月 1 日 職員2人採用(2人退職、総員 113 人)	▼消防本部震災体制 消防計画における地震第二次配備体制自動 発令。消防本部震災指揮本部の設置 本署 79 名、西分署 12 名、南分署 8 名、松代 分遣所 6 名、松之山分遣所 6 名の体制で、 交替で休憩をとりながら 24 時間勤務。 10 月 29 日 17 時から 12 月 17 日 17 時まで順 次勤務体制を変更して非常体制を継続し、そ の後通常体制に移行
6 月 11 日 十日町ライオンズクラブより赤バイ2台寄贈を 受け本署に配置(ヤマハセロー225)	▼災害発生状況(10 月 23 日～10 月 31 日) 火災件数 十日町市 2件 救助件数 十日町市 4件、松代町1件 救急件数 267 件
6 月 30 日 松代分遣所査察広報車更新 (ニッサンウイングロード4WD)	
12 月 16 日 松代分遣所救急車更新 (トヨタグランビア2-B型 4WD)	
平成 12 年 1 月 17 日 松之山分遣所消防車更新 (三菱キャンターCD-1 型 4WD)	
4 月 1 日 職員6人採用(6人退職、総員 113 人)	
6 月 1 日 十日町大火 100 周年記念総合防災訓練及び 「消防史」発行	
7 月 19 日 本署指令1号車更新 (ニッサンセドリック 4WD) インパルス(新消火システム)2台配備	
8 月 21 日 西分署日赤救急車更新 (トヨタグランビア2-B型 4WD)	

平成 17 年		▼震災警防本部の設置
2 月 12 日	19 年ぶりの豪雪 最高積雪 2m76cm	新潟県広域消防相互応援協定に基づく出動要請。救助工作車、ポンプ車、タンク車、高規格救急車、高発砲車にて出動。10 日間で、16 隊、延べ 63 人が活動にあたる。
4 月 1 日	5 市町村が合併し、新十日町市誕生 (十日町市、川西町、中里村、松代町、松之山町) 合併に伴い、旧市町村消防団を統合し、十日町市消防団5方面隊体制とした。 職員7人採用(5人退職、総員 115 人)	▼災害出動状況(7 月 16 日発災当日) 消防署 19 台 108 人 消防団 48 台 175 人
5 月 20 日	高機能消防指令センター(Ⅱ型)運用開始	11 月 29 日 本署救急1号更新(緊急消防援助隊仕様、高規格救急車 トヨタハイエース CBF-TRH226S)
6 月 28 日	松代地域集中豪雨(252mm/日)	平成 20 年
7 月 28 日	松之山分遣所日赤救急車更新 (トヨタグランビア2-B型 4WD)	2 月 12 日 十日町市消防団十日町方面隊本部分団第2部1班の「防火幕」の歴史に幕。多目的災害対応班へ
8 月 12 日	十日町ロータリークラブより、救急訓練人形7体寄贈を受ける	2 月 29 日 十日町市消防団が日本消防協会より防災活動車の寄贈を受け、十日町連絡3とし、本署に配置(ダイハツハイゼット)
8 月 12・15 日	集中豪雨(津南町、松之山地区) 松之山天水越地内土砂崩れ災害	3 月 21 日 十日町市消防団十日町方面隊本部分団のポンプ自動車を更新(日野 CD-1型 4WD)
8 月 15 日	樽沢集落1年ぶりに避難指示解除	4 月 1 日 職員8人採用、うち女性消防士1名 (8人退職、総員 115 人)
10 月 25 日	本署に指揮車(マツダボンゴ)を配置	7 月 1 日 平成 19 年度退職者より十日町地域消防本部・署旗の寄贈を受ける
10 月 28 日	日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受け南分署に配置 (HIMEDIC 型 VCH 38S)	8 月 3 日 第 59 回新潟県消防大会を十日町市で開催
11 月 28 日		10 月 27 日 十日町地域広域事務組合と新潟県立十日町病院との救急現場における救急業務に関する協定書締結
平成 18 年	豪雪により災害救助法が適用(十日町市、津南町)	平成 21 年
1 月 6 日	平成 18 年豪雪の各地最高積雪	2 月 5 日 本署消防2号更新(緊急消防援助隊仕様) (日野 CD-2型 4WD CAFS搭載)
1 月 12 日	2m77cm (消防本部) 3m13cm (十日町試験地) 3m62cm (津南町役場) 4m42cm (松之山支所) 職員3人採用(職員3名退職 総員 115 人)	3 月 23 日 消防団協力事業所表示制度を導入 (認定事業所表示証交付式開催)
4 月 1 日	新潟県消防学校教官1名派遣解除 職員1人採用(1人退職、総員 115 人)	4 月 1 日 職員6人採用(職員5名退職 総員 116 人) 津南町消防団女性部発足 (入団 10 人)
4 月 10 日	十日町市消防団女性部発足 (入団 14 人)	9 月 20 日 消防ひろばが 20 回を迎える
7 月 1 日	本署消防1号更新(緊急消防援助隊仕様) (日野CD-1型 4WD)	11 月 24 日 西分署日赤救急車更新(高規格救急車) (トヨタハイエース CBF-TRH226S)
12 月 26 日		12 月 10 日 高発砲車を廃車し、資機材搬送車を本署に配置(日野レンジャー 4WD)
平成 19 年		平成 22 年
4 月 1 日	職員3人採用(3人退職、総員 115 人)	4 月 1 日 職員4人採用(職員5人退職、総員 116 人) 新潟県消防学校教官1名派遣(2年間)
4 月 6 日	新潟県消防職員意見発表会(於:佐渡市)で最優秀賞を受賞	
7 月 16 日	新潟県中越沖地震 午前 10 時 13 分上中越沖を震源とする M6.8 の地震が襲う。柏崎地域を中心に甚大な被害が発生。(十日町地域管内最大震度5強)	

平成 22 年		4 月 1 日	職員 3 名採用(職員 5 名退職 総員 114 名)
4 月 15 日	本署救急 2 号更新 (緊急消防援助隊仕様、高規格救急車 トヨタハイエース CBF-TRH226S)		松代・松之山分遣所を統合し、十日町市松之 山小谷地内に「しづみ分署」を開署し、業務 を開始する。分署長・副分署長・当直 5 人体 制。
8 月 25 日	総務省消防庁から多目的防災活動車の貸与 を受け、十日町市消防団十日町方面隊本部 分団へ配置		
10 月 28 日	松之山分遣所救急車更新 (緊急消防援助隊仕様、高規格救急車 トヨタハイエース CBF-TRH226S)		
平成 23 年			
1 月	豪雪により災害救助法が適用(十日町市、津 南町) 平成 23 年豪雪の各地最高積雪		
1 月 31 日	3m10cm(津南町役場)		
2 月 1 日	2m52cm(消防本部) 2m90cm(十日町試験地) 3m69cm(松之山支所)		
3 月 11 日	東北地方太平洋沖地震 午後 2 時 46 分宮城県沖を震源とする M9.0 の 地震発生。東北地方を中心に甚大な被害が 発生。 新潟県緊急消防援助隊として、救急隊 3 名、 救急支援隊 2 名が宮城県石巻市に出動。 第 8 次隊、第 10 次隊、第 13 次隊にわたり延 べ 17 名を派遣。 十日町病院 DMAT チーム(医師 1 名、看護師 1 名、連絡調整員 1 名)の搬送として、連絡 1 号車にて隊員 2 名が福島医大へ出動。 福島県内の入院患者を新潟県内の医療機関 へ搬送するため新潟県相互応援協定に基づ き新潟県消防学校で患者を引継県内病院へ 搬送。(3 月 19～20 日)		
3 月 12 日	長野県北部地震 午前 3 時 59 分、長野県北部を震源とする M6.7 の地震発生。十日町市中里・松代・松之 山、津南町で震度 6 弱を観測し、同地区を中 心に大きな被害を生じる。 ▼災害出動状況(4 月 4 日現在) 火災 1 件、救急救助 7 件、調査 55 件		